

ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 237 号

令和3年11月1日発行



赤い羽根街頭募金(阿久根市 A-Zあくね店)

地域の課題解決ツール「支え合いマップ」の紹介……	2	民間社会福祉施設職員退職共済制度のご案内……	8
新しい貸付制度のご案内……	3	ボランティア団体紹介～大隅あゆみの会(肝付町)……	9
シルバー110番～コロナ禍の中のフレイル予防……	4	伊佐市災害ボランティアセンターによる被災者支援の取組……	9
あなたのまちのアクティブシニア かもう女性の会(始良市)……	5	楽しく学べる介護講座のご案内……	10
「小さな親切」でのひら感謝状の優秀作品紹介……	5	令和3年度共同募金運動スタート 赤い羽根空の第一便伝達式……	11
「小さな親切」作文コンクールの優秀作品紹介……	6	生命保険協会からのお知らせ……	12
福祉の職場で働く人の福利厚生を応援!!……	7		

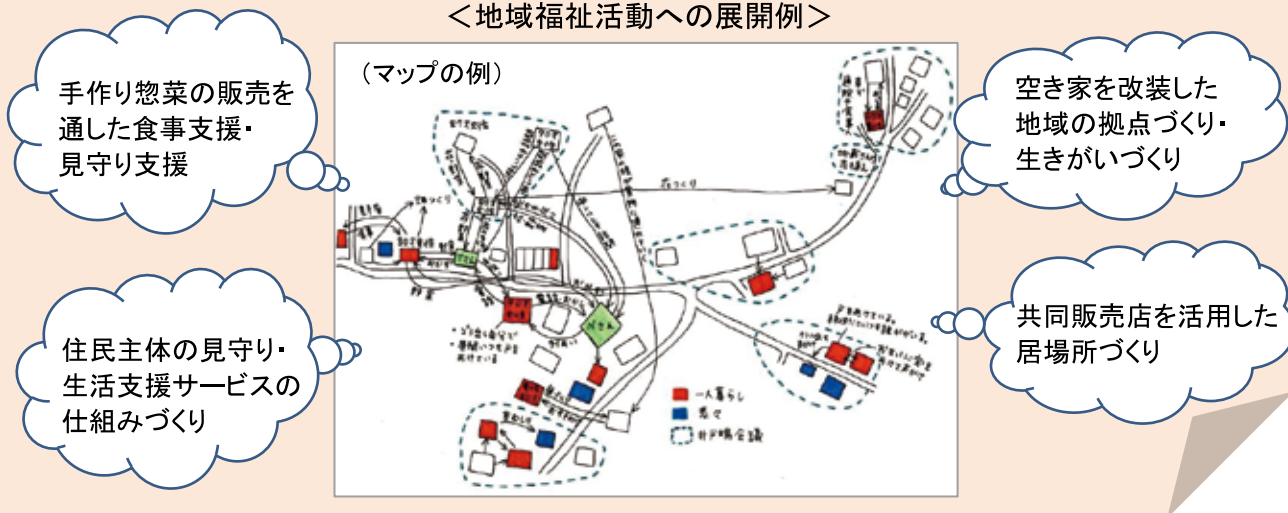


地域の課題解決ツール「支え合いマップ」の紹介

支え合いマップとは？

埼玉県住民福祉総合研究所の木原孝久氏が考案されたもので、地域住民・関係者から聞き取った内容を見える化し、住民の関わり合いを線で結びながら支援の必要な方や地域の取り組み課題を抽出するための地図です。この地図をもとに、住民と一緒に支援の方策や課題の解決方策を考えながら、地域福祉活動に結びつけていきます。

<地域福祉活動への展開例>



鹿児島県社協では「鹿児島県ご近所支え合いマップセンター」を設置し、市町村社協と連携して次のような取り組みをしています。

～地域住民に対して～

住民同士が困りごとを共有して、助け合いのきっかけを作り出します。

困りごとを抱える住民について、住民同士が状況を把握し、「支え合いマップ」をとおして、住民ができる範囲の中で**困りごと**の**解決策**を検討し、実践することをお手伝いします。

ケアマネジャーや相談支援専門員等

～支援する専門職種に対して～

支援する専門職種が、利用者と地域の関係性を把握し、必要なつながりを作り出します。

高齢・障害・児童等の様々な福祉分野における支援者が、利用者に対する支援の中で、「支え合いマップ」をとおして、**利用者**と**地域の関わり合い**を確認し、実践に活かしていくことをお手伝いします。

新型コロナウイルスの影響により、生活に困窮する世帯が増加したり、外出の自粛や地域活動の制限によって支援を必要とする方が孤立したりするなどの新たな課題が生じています。

「支え合いマップ」を触媒に、ご近所同士に眠っている困りごとを「見える化」して、地域住民と一緒に解決できる機会を提供します。

ぜひお気軽にマップセンターまでお問い合わせください！



マップづくりの様子

お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部 TEL 099-257-3855

新しい貸付制度のご案内



他業種で働いていた方が、**介護分野、障害福祉分野**に再就職した場合の貸付事業と福祉系高校に修学した場合の貸付事業を令和3年度に創設しました。

介護分野就職支援金

障害福祉分野就職支援金

福祉系高校修学資金



右のQRコードを読み込んでホームページにアクセスできます。

介護分野就職支援金・ 障害福祉分野就職支援金

- 貸付限度額・・・ **20万円**
- 貸付回数・・・ **1人1回**
- 貸付利子・・・ **無利子**

全額免除
もあり



鹿児島県内で再就職される、または、予定の方が対象です

対象経費

子どもを預けるための費用、研修会受講料や図書費・受験手数料、転居に伴う費用、通勤用自転車・バイク等購入費、介護ウェアなどの業務用被服費

貸付対象者

- ①介護や障害福祉の所定の研修を受講し、修了した方
(就職と同時に(3カ月以内)に研修を受講した場合も対象となります)
- ②介護や障害福祉の事業所に就職または就職予定の方
- ③介護分野・障害福祉分野就職支援金利用計画書を提出した方
- ④再就職準備金または介護分野・障害福祉分野就職支援金を相互に貸付を受けたことがない方



詳細については、直接お問い合わせください。



介護福祉士の 福祉系高校修学資金

全額免除
もあり



<貸付額(上限)>

- ア 修学準備金(入学金を除く) **3万円**(入学時に限る)
- イ 介護実習費 **3万円(年額)**
- ウ 国家試験受験対策費用 **4万円(年額)**
- エ 就職準備金 **20万円**
(就職する場合及び最終回のみ)

※県内には、福祉系高校が8校あります。

合格



お問い合わせ先
申し込み先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部 TEL:099-214-3701
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

コロナ禍の中のフレイル予防

新型コロナウイルス感染症の現況

新型コロナウイルス感染症の発生以来2年に渡って世界中で自粛生活が続いています。日本においても2021年7月以降は新規感染者数の増加(第5波)が続き、9月30日ようやく全国の緊急事態宣言等が解除されたところです。

10月4日の政府のまとめではコロナワクチン2回目接種終了者が全人口の60%を超えています。今後もマスク着用などの感染予防対策の継続が必要とされています。

閉じこもり生活と高齢者への影響

先の見えない自粛生活の中で、毎日家に閉じこもって1日中テレビを見たり、ボーッとしていませんか？
誰とも話さず、たまには食事を抜くことはありませんか？

↓
このような動かない生活が続くと

↓
筋力・筋肉が減少→活動量減少→食事量減少→低栄養→体重減少→筋力・筋肉が減少するという悪循環(フレイル・サイクル)が起こります。



フレイルとは？

からだや心の機能が低下した状態を「フレイル(健康と要介護の中間の虚弱状態)」といい、フレイルが進むと、からだの回復力や免疫力の低下につながります。

次の5項目のうち、3項目以上該当するとフレイル、1項目または2項目だけの場合はプレフレイル(フレイルの前段階)、なにも該当しなければ健常と判断します。

- ① 6か月で2kg以上の(意図しない)体重減少
- ② 筋力(握力)低下
- ③ ここ2週間わけもなく疲れた感じがする
- ④ 歩く速度が遅くなった
- ⑤ 週に1回も運動していない



フレイルにならない・フレイルの進行を予防する3つのポイント

1 運動

天気の良い日は、人との距離を取った上で30分~1時間の散歩をしましょう。
家の中でもできる範囲で、スクワットやラジオ体操、足踏み等でからだを動かし、座っている時間を減らしましょう。



2 食生活・口腔ケア

- バランスの良い食事を3食しっかり摂りましょう。特に、筋肉をつくるタンパク質、筋力維持や骨粗しょう症予防のためのビタミンDを多く含んだ食材を取るよう努めましょう。
*タンパク質は肉・魚・乳製品に、ビタミンDはきのこ類、魚介類、卵に多く含まれます。
- 毎食後の歯磨きで口を清潔に保ち、インフルエンザなどの感染症を予防しましょう。
- しっかり噛んで食べ、電話やおしゃべりで口の周りの筋肉を保ちましょう。

3 人との交流・つながり

孤独を防ぎ心身の健康を保つ為に、家族や友人と電話やメールなどを活用して交流し、ストレスや不安の解消をしましょう。

ちょっとしたあいさつや会話も大切です。安心して暮らすために、困った時に頼める人をおきましょう。



最後に

第6波が予想されるなど、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響は続きそうな状況ですが、コロナ禍の中の過ごし方を模索しつつ、上記の3つのポイントを参考に家族・友人と支え合って心身の健康を維持しましょう。また、インフルエンザの季節もすぐにやってきますので、体調管理に十分気をつけてお過ごし下さい。

あなたのまちのアクティブシニア

「かもろ女性のかい」(始良市)

「かもろ女性のかい」は、明治37年、蒲生小学校同窓会女子部を中心とした活動に始まり、平成8年に蒲生町婦人会から現在の名称に変更されました。同時に全国組織である生活学校に参加し、「蒲生生活学校」としても活動しています。活動の原動力は、「蒲生大好き」という熱い郷土愛と、「できる人が、できる時に、できることを」を合言葉に、現在、会員91名で活動しています。

主な活動の一つ目に、環境浄化活動があります。「EM（安全で有用な80種類以上の微生物群）を活用し、環境の浄化」を行います。家庭排水は、川の源流であるという認識を持って、米のとぎ汁にEM活性液を使って発酵液を作り、掃除や洗濯等に使用しています。

また、EM土団子を作り、海の日に全国一斉に河川に投入しています。水生生物が増え、ホタルもたくさん見られるようになり、河川の浄化に役立っています。

蒲生地区の3小学校では、出前講座として、EM発酵液作りを、子供達と



EM土団子河川投入



EM発酵液作り



蒲生ん子見守り隊

<代表者> 山下 裕子
<連絡先> 始良市社会福祉協議会
蒲生支所
☎ 0995-52-1400

一緒に行います。発酵を待つブルーに投入し、ブルー掃除の際には、悪臭や苔の発生の少ないことを実感。環境教育の一助としています。

二つ目に、見守り活動があります。

「蒲生ん子見守り隊」は、児童の登下校の見守り、挨拶・声かけをし、私達も子供達の元気な声や笑顔に励まされています。

また、「高齢者見守り隊」は、高齢者の安否確認やお話し相手、ゴミ出しの手伝い等を行っています。四季折々に心を込めたメッセージカードをお届けし、大変喜ばれています。

三つ目に、リサイクル活動があります。日本一大桶ごとと秋祭りでは、会場内のゴミ分別や食品容器の洗浄等を来場者と一緒に行い、生ゴミはEMを使って堆肥化を行っています。

今後、次の世代の会員を増やす広報活動や、各種団体との連携を図りながら、時代に即応した目標に向けて歩みを進めて参ります。「美しい環境と温かい和の心」を次の世代に手渡したいと願っています。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。

このひら感謝状

「小さな親切」運動鹿児島県本部賞

素直に「ありがとう」を言えるように

尚志館高等学校 一年 山下 明海里

二年前の冬、新型コロナウイルスが流行し始めた。当時は、新しい感染症の流行に日本中、世界中の人々が対策をし、思うようにいかない生活を送っていた。この新型コロナウイルスは、私たちの普段通りの生活、人とのつながり、人々の優しさ、そして「ありがとう」という感謝の言葉がとうとうという感謝の言葉がとうとう奪っていった。コロナが日本でも流行し始めた頃、テレビをつければコロナのこ

とばかりが報道されていた。みんなが感染症対策をすることを呼びかけるものや、陽性者の人数などのニュースが特に多かった。その中で一番私の心に残ったのは、それが当たり前だ

と、世界のために頑張っている医療従事者の方々に感謝しなければ、私が今、生活で支えているのはたくさんある。最近の私たちが素直に「ありがとう」を言えるように、支えてくれていた人への感謝の心を忘れていないと思う。誰もが「ありがとう」を素直に言い、たくさ

んの「ありがとう」があふれている、そんな世界が早く実現してほしいと思う。



「小さな親切」作文コンクール 県知事賞

優しさにふれた瞬間

鹿児島市立田上小学 六年

亀甲 愛花

私は、とても急いでいた。なぜかというと、お母さんに買い物を買って、頼まれ、車に待たせていたからだ。その上、

「おばあちゃんが待っているから早くね。」

と念押しされた。しかし、その日のスーパーはとても混んでいて、レジには行列ができていた。皆、沢山の品物をかごに入れ、会計を待っている。しかも、レジの店員さんは、胸元に「研修中」のプレートがついていた。一つ一つ丁寧に作業されている。私の手にはマヨネーズ一本だ。とてもイライラした。「先に会計させてほしいなあ。」と心の中で思っていると、高齢の女性の番になった。おばあ

ちゃんと同じくらいの年齢だ。おばあちゃんも同じだが、最近動作がすごく遅い。合計金額が出てから財布を探し、お金を出していた。

私は、「事前に準備しておけばいいのに。」と思っていると、ようやく会計が済んだ。店員さんは、おばあさんのかごを袋に詰める作業台まで運んでいた。おばあさんは、とても感謝して何度もお礼を言っていた。店員さんは笑顔で、「いつもご利用ありがとうございます。また、ご来店くださいね。」と答えていた。さらに、店員さんはレジに並んでいるお客さんに対して、

「お待たせしてすみません。」

と謝られていた。その光景を見て「ハッ」とした。はやる気持ちが

優先して、人に対する思いやりが欠けていたことに気付いた。私のように急いでいる人が他にもいるかもしれない。でも、誰一人店員

さんやおばあさんに文句を言ったり、嫌な顔をしたりする人はいなかった。私は、自分のことばかり考えていたことがとても恥ずかしいと思った。どんなときでも、心に余裕をもち、相手を思いやる気持ちをもちたいと思った。

ふとその瞬間、周りを見渡すと、私のすぐ後ろで生後間もない赤ちゃんや幼稚園生を連れて並んでいる親子に気が付いた。かごには大量の商品と手には赤ちゃんのおむつまで持っている。私はとっさにかごを持ち上げる手伝いをした。赤ちゃんのお母さんは、「ありがとうございます。重たいから助かったわ。」

と、言った。思わず私は、「車まで持ちます。」

と、言っていた。それから車まで一緒に運んで別れた。別れ際にまた、

「ありがとう。」

と、言われた。「ありがとう。」と言いたいのには私の方だ。人を思いやる気持ちに気付かせてくれた店

員さんとおばあさん。荷物を持つという行為で私の心を軽くしてくれた赤ちゃんのお母さんに感謝したい。

車のドアを開けながら、「遅くなってごめん。」

と言って、なぜか笑顔になっていた。人への思いやりは私の心をほっこりとさせた。



福祉の職場で働く人の福利厚生を応援!!

魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます。

福利厚生センター 〈ソウェルクラブ〉とは

福利厚生センターは、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図ることを目的に設立され、厚生労働大臣指定の、当該事業を行う全国唯一の社会福祉法人です。会員数は、全国で約27万3千人に達しております。

鹿児島県社会福祉協議会は、福利厚生センターの鹿児島事務局を運営しています。

1 福利厚生センターのサービス内容

■福利厚生事業を全国で共同化し、規模のメリットを活かして多種多様なサービスを提供しています。

<p>会員の健康のために</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病予防健診費用助成(4千円) 30歳以上の会員が生活習慣病予防健診等を受診した場合、検査項目に応じて助成 ●健康生活用品の給付(3千円相当) 毎年、全会員に健康生活に関わる品物の中から希望する1品を給付 ●こころとからだの電話健康相談 相談料・通話料無料
<p>会員の慶弔時のために</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●結婚お祝品・出産お祝品・入学お祝品贈呈 会員の結婚、会員とその配偶者の出産の場合、1万円の商品券を贈呈 会員の子が小学校、中学校に入学した場合、5千円の商品券を贈呈 ●永年勤続記念品贈呈(5千円～5万円相当) 勤続5・10・15・20・25・30年を迎えた会員へ記念品の贈呈 ●長期勤続者退職慰労記念品贈呈(2万円相当) ●会員死亡弔慰金(就業中・通勤時の場合180万円、左記以外の場合60万円) ●配偶者死亡弔慰金(10万円) ●入院手術見舞金(就業中等の事故で入院の場合、1日千円。手術は、内容に応じて給付) ●高度障害・後遺障害見舞金 事故等が原因での高度障害60万円、就業中等の事故での後遺障害 最高120万円 ●災害見舞金(法人20万円、個人1万円)
<p>会員の資質向上のために</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●資格取得記念品贈呈(5千円相当) 社会福祉に関する専門資格(対象資格)を取得した場合、記念品を贈呈 ●各種研修会等の開催(海外研修、接遇講習会等)
<p>会員のリフレッシュのために</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●クラブ・サークル活動助成(1人当たり千円) 職場における会員間の交流促進等で、スポーツ、文化・教養、行楽等、年2回以上の定例的余暇活動として行われるサークル活動の支援 ●指定保養所 KKR宿泊施設、ダイワロイヤルホテルズ、グリーンピア、休暇村と契約 会員は、優待割引料金+1泊2,500円引き。2種会員は、優待割引料金で利用可
<p>会員の生活面のサポートのために</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●特別資金ローン(多目的ローン) ●ソウェル保険(団体生命、医療保障、積立)(傷害、入院、がん) ●結婚・葬祭サービス ●特別提携住宅ローン ●教育資金・車購入資金等 ●引っ越しサービス

2 会員交流事業

■鹿児島事務局企画事業として、観劇、コンサート、会食ランチ等に安価な価格で参加いただき、会員間の親睦やリフレッシュに役立つサービスを提供しています。(本年度予算約953万円程)

3 加入について

■社会福祉事業に加え、社会福祉事業以外の介護保険事業も加入対象です。

■掛金は、毎年度1人当たり、1種会員は1万円(常勤・非常勤職員)、2種会員は5千円(非常勤職員)です。

※2種会員は、サービス内容が一部限定されます。

【お問い合わせ先】社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
福利厚生センター(ソウェルクラブ) 鹿児島事務局
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 (県社会福祉センター内)
TEL: 099-256-6767 FAX: 099-250-9363 E-mail: jinzai3@kaken-shakyo.jp

鹿児島県 民間社会福祉施設職員退職共済制度のご案内

1 目的

鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済事業(以下「県退共」という。)は、民間社会福祉施設職員の福利を増進し、もって社会福祉事業の振興に寄与することを目的とし、昭和63年4月1日にスタートしました。以来、福祉施設・事業所の現場で安心して働くことができる魅力ある職場環境の整備を通して、福祉人材の確保、並びに安定した福祉サービスの提供に努めてまいりました。制度を持続的・安定的に運営するため、拠出された掛金は金融機関に信託し、安全で効率的な運用を行っております。

加入事業所数 543施設
加入者数 10,917人
令和3.3.31現在

2 加入対象施設と職員

(1) 加入の対象施設は、鹿児島県内にある民間社会福祉施設等であり、鹿児島県社会福祉協議会(以下「県社協」・という。)の会員である施設であることが加入条件となります。

なお、契約者は加入対象施設を経営する法人の代表者となります。



民間社会福祉施設等とは…

社会福祉施設職員等退職手当共済法(以下「共済法」という。)第2条第1項に規定する社会福祉施設、同条第2項に規定する特定社会福祉事業、同条第3項に規定する特定介護保険施設等及び同条第4項に規定する申出施設等です。

(2) 加入の対象職員は、民間社会福祉施設等に勤務する有給の役員及び職員のうち、就業規則、労働協約等により、退職金制度の受益者とされた方になります。

対象となる職員の全員加入を原則としています。加入要件を満たす場合は、平等に加入させてください。職員任意の加入制度ではありません。



3 掛金

(1) 掛金の算出毎月、契約者と加入者が次のとおり掛金を負担します。

契約者:毎月1日時点で在籍する加入者の標準給与月額¹の1,000分の25

加入者:毎月1日時点で在籍する加入者の標準給与月額²の1,000分の25

標準給与月額とは…

毎年4月1日現在における加入者の本俸及び特殊業務手当の合計額(以下「給与月額」という。)を鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済事業運営規程(以下「運営規程」という。)別表1の区分(60,000円～340,000円の5,000円刻みの金額)に当てはめた額になります。

※ 当該年度の5月1日以降、新たに加入した者については、加入した月の給与月額を規定の区分に当てはめた額とします。

※ 原則として、年度途中で昇級した場合であっても、標準給与月額は変更しません。

(2) 掛金の納付契約者は、県社協が毎月送付する「掛金納入通知書」により、あらかじめ契約者が指定した金融機関預金口座からの口座振替の方法により掛金を納入します。

口座振替の期日:翌月13日(金融機関が休日の時は翌営業日)

※ 口座振替の方法で納入することができない場合や、口座振替ができなかった場合は、県社協が指定する金融機関口座への振込により納入して頂くこととなります。この場合の振込手数料は契約者のご負担となります。

※ 加入や退職などの届出が遅れ、実際の掛金の額と振替額が相違した場合は、翌月以降の振替で調整をさせていただきます。

4 給付金

県退共の給付金は、次の2種類で、いずれかの一時金が給付されます。

- ① 退職一時金:加入者が退職した場合に契約者に給付します。
- ② 遺族一時金:加入者が死亡により退職した場合に契約者に給付します。



【お問い合わせ先】 **社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター**

所在地 鹿児島市鴨池新町1番7号(鹿児島県社会福祉センター)

TEL 099-256-6767

FAX 099-250-9363

退職共済事務マニュアル、各種届出様式等はこちらから閲覧・ダウンロードできます。→

<http://www.kaken-shakyo.jp/taisyoku/r02taisyokukyosai.html>



大隅あゆみの会 (1型糖尿病患者(者)と家族・支援者の会)

団体紹介

「大隅あゆみの会」(1型糖尿病患者(者)と家族・支援者の会)を紹介します。

この会は、1型糖尿病患者(者)の方々やいろいろな個性(疾患や障がい)を持つ方々及びその家族の福祉・生活向上のため、日常生活や社会生活の支援及び生きがいづくりを目的に活動しています。病気に向き合い、多くの不安と戦いながら、1日1日乗り越えている方々の不安を少しでも取り除き、より良い生活の為に年代を超えて経験者の話や情報を交換し合えたらとの思いで、2011年に設立されました。

◆いつ・どこで? 大隅地区内の会場で、毎年9~10月頃に研修・交流会、生活環境が変わる新年度前の2~3月頃に情報交換会を行っています。また自己成長も意図し、いろいろな個性(疾患や障がい)を持つ方々の支援活動も行っています。

◆だれと・どんなことを? 現在、10数家族で活動を行っています。患児(者)は、小学生から社会人、発症は1歳から高校生・主婦など様々です。



活動目的

- ☆ 本人・家族など関係者の交流と親睦活動
- ☆ 情報の交換や共有で生活の質を高める活動
- ☆ その他、福祉向上に必要な活動

参加対象

- ☆ 1型糖尿病患者、家族、賛同者、支援者 他

活動内容(年1・2回)

- ☆ 生活の工夫や悩みなど自主的なおしゃべり交流
- ☆ 専門スタッフ(医療・保健・療養指導士など)懇談
- ☆ 1型糖尿病に関する情報収集・提供(関係制度など)
- ☆ いろいろなハンディを克服している方、家族の話など(活動には保健所のご協力・ご支援を頂いております。)

負担金等

- ☆ 無料 ※会場使用料や飲食など実費はその都度個人負担

代表・事務局 肝属郡肝付町新富 5589-8 肝付町福祉会館内
 津代幸一郎(ツシロ) ※患児(者)家族
 TEL(勤): 0994-68-8188
 TEL(携): 090-3328-5109

協力 鹿屋市打馬 2-16-6
 大隅地域振興局保健福祉環境部
 健康企画課健康増進係
 TEL: 0994-52-2105

伊佐市災害ボランティアセンターによる被災者支援の取り組みについて ~令和3年7月9日からの大雨災害による伊佐市社会福祉協議会の被災者支援活動~

令和3年7月9日からの九州南部を中心とする記録的な大雨では、本県の北薩と始良・伊佐地域の3市2町に大雨特別警報が発表されるほどの荒天となり、人的被害はなかったものの住家被害が248棟(令和3年10月1日現在)に上る被害が生じました。

この大雨で床上浸水の最も多かった伊佐市社会福祉協議会では、被災者の生活復旧を支援するため、7月13日(火)から16日(金)までの4日間に「伊佐市災害ボランティアセンター」(以下「災害VC」という)を設置し活動を展開しました。

設置期間中は、当会ボランティアセンターからも定期的に支援に入り、災害VCの運営や物資等の支援を行い、無事に災害VCの活動を終えることができました。

県内各地からお集まりいただいたボランティアの皆様へ感謝申し上げますとともに、今後も災害ボランティア活動への御理解と御協力をお願いいたします。



ボランティア活動の様子

【災害VC活動実績】

- ・受付ニーズ件数…23件
- ・活動終了件数…23件
- ・期間中のボランティアの協力者……延べ47人

楽しく学べる介護講座(11月～2月)のご案内

番号	講座名	日時	内容	受講料等
1	介護職の体リフレッシュ研修	11月11日(木) 13:00～16:00	○介護職(自分)の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ体操	2,000円
2	やさしい介護教室C 【県民向け】	11月16日(火) 10:00～15:00	○基本を知ろう!衣服の着脱・歩行の介助方法 ○ここに注意!誤嚥をふせぐ食事の介助方法	500円
3	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅡ)	11月17日(水) 10:00～16:00	○身体状況に応じたおむつの種類と選び方 ○おむつのあて方のポイント	4,000円
4	地域介護講座(大隅地区) 【県民向け】 ※会場:大崎町老人福祉センター	11月24日(水) 10:00～15:30	○らくらく!寝返り・研修起き上がり・立ち上がり・移乗の介助方法 ○ここに注意!誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ○これは助かる!福祉用具の選び方・使い方	500円
5	介護食調理教室	11月28日(日) 10:00～15:00	○高齢者が食べやすく、栄養バランスのとれた調理方法 ○補助食品の紹介	3,000円 食費込
6	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅠ)	12月1日(水) 10:00～16:00	○排泄・失禁についての基礎知識 ○スキンケア方法 ○麻痺・拘縮のある方のおむつ交換	4,000円
7	介護職スキルアップ研修 (介護機器利活用)	1月7日(金) 10:00～16:00	○介護機器(介護ロボット)の効果的な利用 ○介護機器(介護ロボット)の操作体験	4,000円
8	介護職スキルアップ研修 (口腔ケア)	1月14日(金) 10:00～16:00	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○拒否される方への対応・コミュニケーションのとり方 ○口腔ケア体操	4,000円
9	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	1月15日(土) 10:00～16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換・ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
10	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅠ)	2月9日(水) 10:00～16:00	○排泄・失禁についての基礎知識 ○スキンケア方法 ○麻痺・拘縮のある方のおむつ交換	4,000円

(会場は、4以外すべて「かごしま県民交流センター」です。)

講座・研修の様子



お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)(運営:社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター2階

TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo-kakenshaky@po5.synapse.ne.jp

【利用時間:9:00～17:00】

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【休館日:月曜日 ※祝日の場合は翌日、12/29～1/3】



※掲載の内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。

※認知症介護実践者研修等につきましては、本会ホームページ<http://www.kaken-shakyo.jp>内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに掲載していますので、ご確認ください。



じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金



今年もご協力をお願いします!



赤い羽根空の第一便伝達式



75回目となる令和3年度の赤い羽根共同募金運動開始にあたり、恒例の「赤い羽根空の第一便伝達式」が10月1日(金)、ANA鹿児島支店のご協力のもと阿久根市役所で行われました。

ANA鹿児島支店長の藤崎様から厚生労働大臣のメッセージが県知事と阿久根市市長へ、中央共同募金会会長のメッセージが県共同募金会会長と阿久根市共同募金委員会会長へそれぞれ手渡されました。

また、コロナ感染防止対策をとった上で、伝達式参加者及び阿久根看護学校の学生さんによる街頭募金活動が「A-Z あくね」で行われ、多くの方々に募金していただきました。ありがとうございました。

今年も赤い羽根共同募金とpiaproが
コラボしました!

バンドリ!ガールズバンドパーティ!も
赤い羽根共同募金を応援します!



親や家族の「死亡」または「認知判断能力の低下」で、
生命保険契約の存在が分からない…

そんなときは、生命保険協会の

「生命保険契約照会制度」

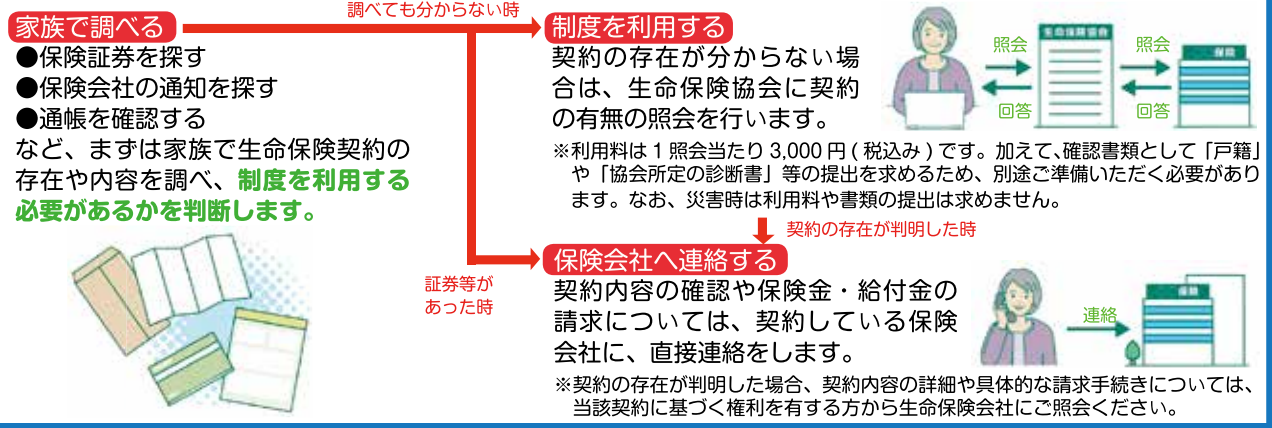
を、ご利用いただけます
お客さまに代わって、生命保険協会が生命保険各社に生命保険契約の有無を確認します

どんなときに制度が利用できるの？

次の理由により、
生命保険契約の有無が
分からないとき

- ⇒ [平時] 親や家族が死亡したとき
親や家族の認知判断能力が低下したとき
- ⇒ [災害時] 災害救助法が適用された地域で被災したことによる死亡
または行方不明のとき

どんな手順で調べたらいいの？



一般社団法人 **生命保険協会**

詳しくは、生命保険協会のホームページをご参照ください。

生命保険契約照会制度 <https://www.seiho.or.jp/>

令和3年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の **事故・紛争円満解決のために!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)	定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
付見舞費用(B型)	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

プラン2 施設利用者の補償
プラン3 施設職員の補償
プラン4 社会福祉法人役員等の補償

スケールメリットを活かした 充実した補償と 割安な保険料です。

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

広報紙「ふくしのひろば」は本会のホームページでもご覧いただけます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。

発行兼編集 鹿児島県社会福祉協議会
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7
☎099-257-3855
☎099-251-6779

発行日 令和3年11月1日(隔月発行) URL <http://www.kaken-shakyo.jp>
印刷所 南日本出版株式会社 ☎099-224-8720